

公民館 ^{ひと} ^{ひと} ^{ひと} のページ

このページでは、公民館に関わる「人々」を紹介いたします。



雑草取りの様子



花の苗を植えています。



愛宕公民館前の歩道の植樹帯に毎年、花の苗を植えているのは愛宕公民館百寿大学のみなさんです。ペゴニアやサルビア、黄色やオレンジ色のマリーゴールドなどの花々は、公民館利用者や近所の方々、子ども達を楽しませてくれています。百寿大学が開かれる日の昼休み、多くの学生さんがいつせいに植えるので、小一時間の作業で苗植えは終わりました。花の成長より早く育つ雑草は花壇の大敵です。愛宕公民館百寿大学のみなさんは6月、8月に雑草の除草も行っています。愛宕公民館百寿大学委員長の永島七郎さんにお聞きしたところ、「いつも利用させてもらう公民館の前にある植樹帯に花があるだけで、ちょっと気持ち良くなるからかな。百寿のみんなで行う作業なので苦にはなっていないし、毎年続けていきたいね」とのことです。

愛宕公民館をご利用の時には、きれいな花たちにも目を向けてみてくださいね！



中央公民館生涯学習活動団体である「旭川魚拓の会」(代表 川西 勉さん)のみなさんは、毎年、子ども向けの夏休みイベント「キッズフェスタ in サマー」のなかで、小学生に「おもしろ魚拓体験」を指導しています。生魚を用いての作品づくりは、子どもたちの大人気の講座です。講座に関わった会員は「子ども達が一生懸命やってくれるので教え甲斐があるし、子どもならではの意外な作品が出てくるので、自分達も勉強になります」「夢中になって真剣に取り組む子ども達の姿を見て、魚拓の持つ魅力を再確認できた」と笑顔で話してくれました！



「旭川魚拓の会」のみなさん